|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 省エネルギー法に基づくエネルギー管理標準 | **「ボイラー設備」管理標準（例）** | 整理番号：Ｂ－１ |
| 改訂： | 頁：1/1 |
| １．目的このエネルギー管理標準は、省エネルギー法第4条並びに告示「判断基準」に基づき、運転管理、計測記録、保守点検、新設措置を適切に行い、エネルギーの使用の合理化を図ることを目的とする。２．適用範囲当事務所等に設置された空気調和設備の熱源機として用いるボイラー設備（温水及び蒸気発生用）に適用する。 |
| 項目 | 内　　　　容 | 判断基準番号 | 管理基準 | 参照マニュアル |
| 運転管理 | **・総合効率の向上管理**1.ﾎﾞｲﾗｰの空気比(1)負荷率50～100％の場合の空気比を設定(2)別表第1(A)(1)の区分に該当するものは表記載の基準値を遵守2.空調機等の負荷に応じ供給温水の温度、量（供給蒸気の温度、圧力、量）及び運転時間を設定し、過剰な温水（蒸気）や燃料の供給をなくす3.ボイラ水質の管理4.空調需要に応じ負荷調整、台数制御等を行い総合的な効率を向上 | (2)①ア(2)①イ(2)①ウ(2)①エ(2)①オ | ・空気比：○～○・[別表第１(A)(1)]・温水の季節別温度℃、量㎥/h・供給蒸気温度℃圧力MPa等・JIS B8223による・台数制御等効率向上対策の仕方を規定 | 運転管理マニュアル |
| 計測記録 | **・効率の監視、改善に必要なデータの把握**1.所要データ等(1)燃料使用量、給水量、排ガス温度、排ガス中残存酸素量の計測記録(2)供給温水の温度、量（供給蒸気の温度、圧力、量）等の計測記録(3)稼働台数、稼働時間の記録　 | (2)②ア | ・項目、頻度 | 記録簿 |
| 保守点検 | **・効率の維持向上対応**1.設備等(1)燃焼装置の清掃(2)ばいじん、スケール等の除去(3)エコノマイザー伝熱面等の点検、清掃(4)保温、断熱部の保守(5)スチームトラップの漏れ点検2.自動制御装置、ｼｰｹﾝｽの点検 | (2)③ア(2)③イ | ・○回／年・○回／月 | 保守点検マニュアル記録簿 |
| 新設措置 | 1.高効率ﾎﾞｲﾗｰの採用他2.特定機器に該当する場合は、製造事業者等の判断の基準に規定する基準エネルギー消費効率以上の効率のものの採用を考慮 1.
 | (2)④オ |  |  |
| 改訂履歴 | 改訂年月日 | 改訂内容 | 作成 | 承認 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 承認 |  | 照査 |  | 作成 |  | 実施年月日 |  |
| 制定年月日　 |  |